国語

漢字の 書き（レベル7）

なまえ

□に 漢字を 書きましょう。

やりかた



はじめて 書く 漢字は、
形を つかむのが たいへんだよね。
知って いる 部分に 分けると、
形が 見えて くるよ。
ゆっくりで だいじょうぶ。

と
跳 ぶ ＝ 足 ＋ 兆

① 読みと 前後の ことばで いみを 考える
② 知って いる 部分に 分けて 思い出す

① あせ □ を かく

② かさ □ を さす

③ さ □ く 花

④ みな □ で 歌う

⑤ ちが □ う 色

⑥ こ □ んだ 電車

⑦ お金を はら □ う

⑧ ふ □ く 風

⑨ たの □ まれた 用事

⑩ こ □ い お茶



ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。

国語

漢字の 書き（レベル7）

こたえ

□に 漢字を 書きましょう。

ここに 気を つけよう



よく 見ると、「違」の しんにょうや「傘」の 中の 人の 数を、まちがえる ことが 多いよ。
部分ごとに おてほんと くらべよう。とめ・はね・はらいも 見て みてね。
まちがいは、つぎに できる ための ヒントに なるよ。

① 汗（あせ）を かく

② 傘（かさ）を さす

③ 咲（さ）く 花

④ 皆（みな）で 歌う

⑤ 違（ちが）う 色

⑥ 込（こ）んだ 電車

⑦ お金を 払（はら）う

⑧ 吹（ふ）く 風

⑨ 頼（たの）まれた 用事

⑩ 濃（こ）い お茶

このプリントで育つ力：画数の多い漢字を、知っている部分に分けて思い出して書く力



ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。